

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	山陰支部	(2) 記載者氏名:	藤井 信一郎	会員番号:	6613	事務局整理記入欄	山陰 - 11
分水嶺区分	W328大谷峠 ~ W330林道横断点	(3) 山行日:	2005年	6月	17日	(4) 天候	曇り

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

藤井信一郎	6613						
		計		1名		計	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		W328(大谷峠) ~ W330(R4林道の無名地点)											
アプローチ:		W328(大谷峠)まで車で入山、そこから車で下山											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大谷峠	富西谷	133	49	33.2	35	15	0.4	919		9:45		
分水嶺到達点W328	大谷峠	"	"	"	"	"	"	"	"	9:45	9:45	B-2	1
	津黒山分岐点	"	"	"	5.1	"	"	9.6	1,120	10:35	10:35	B-3	2
W329	津黒山付近	"	"	"	3.1	"	"	5.7	1,123	11:00	11:00	B-3	3
	津黒山分岐点	"	"	"	5.1	"	"	9.6	1,120	11:45	11:50	B-3	
	第1回目林道横断点	下鍛冶屋	"	"	4.7	"	"	22.9	966	12:55	13:15	B-2	4
分水嶺離別点W330	第2回目林道横断点	"	"	"	6.7	"	"	31.8	876	13:35	13:40	-	5
歩行終了点	W328(大谷峠)	"	"	"	33.2	"	"	0.4	916	14:20			
総歩行時間(休憩時間を除く):												4時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W329	津黒山	2			竹が密生していて発見できなかった。分水嶺から約300m南側に外れた地点である。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

1は、舗装された林道の切り割りの峠で、切り割りの崖上(高さ約10m)に右の地蔵さまが安置されている
4と5は、舗装された1車線の林道が分水嶺を横断している。
4~5の間は、ブナの高木林でその下草が幅約5mで刈り込まれている。GPSの分水嶺位置が約30mほど西側にずれている。
2は、石とプラスチック製の県境標識が設置

(9) 水および植生に関連した特記事項

1~2は、高さ2m、直径1cm程度の竹と喬木の混生
2付近から高さ3m直径1cm以上の強靱な竹が密生、
4の上部はブナの高木林で、竹はやや少

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: